様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6　年　6　月　27　日

（あて先）豊中市長

提出者
住　所　熊本県熊本市南区野田三丁目13番1号

氏　名　㈱前田産業 代表取締役 木村 洋一郎

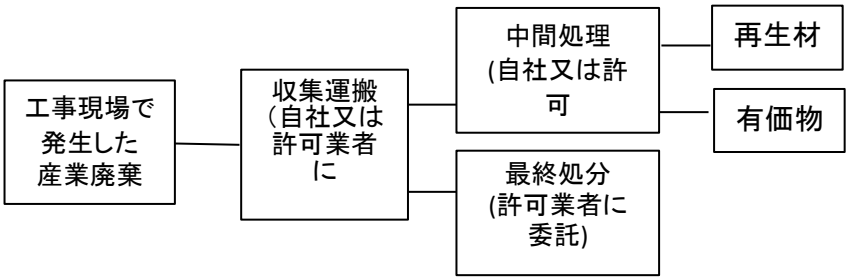
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　096-358-6600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社前田産業
事業場の所在地	大阪府豊中市刀根山5丁目1-1
計画期間	※欄は記入しないこと。

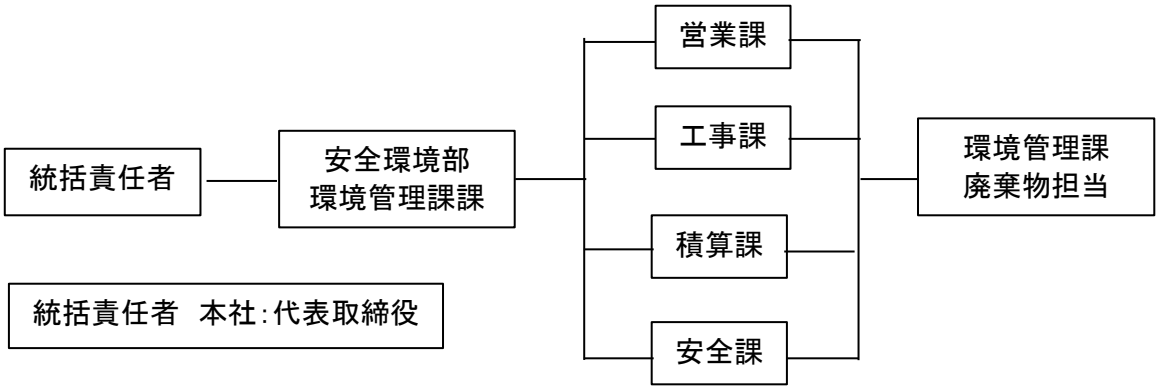
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	07.職別工事業
②事業の規模	11,742,287,395　円
③従業員数	223　名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和5　年度　）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
排　　出　　量	9463.11　t	8　t

（これまでに実施した取組）
コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再資源化施設への搬入の徹底。
工事現場での分別の徹底。
混合廃棄物の発生抑制。
循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効利用に心がけ廃棄物の最終処分量(埋立処分)を限りなく”ゼロ”に近づける
ゼロエミッション活動に取り組む。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
排　　出　　量	10000　t	30　t

（今後実施する予定の取組）
これまでと同様に取り組む。リサイクル可能な分別品目を増やし、混合廃棄物は選別が困難なため、混合廃棄物を出さない工夫が大切になる。循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効利用に心がけ廃棄物の最終処分量(埋立処分)を限りなく”ゼロ”に近づけるゼロエミッション活動に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

※欄は記入しないこと。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状維持に加え、混合廃棄物の分別・選別施設への搬入を徹底する。
解体工事の際、現場での分別を徹底し再資源化率のアップに努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
9.09　t	4.75　t	104.37　t	4　t

②計画

ガラスくず等	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
20　t	10　t	150　t	5　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	石綿含有廃プラスチック類	石綿含有がれき類
54.89　t	8.5　t	1.16　t	56.68　t

②計画

廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	石綿含有廃プラスチック類	石綿含有がれき類
60　t	20　t	10　t	60　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

蛍光灯	管理型建設系混合廃棄物		
0.24　t	68.03　t	t	t

②計画

蛍光灯	管理型建設系混合廃棄物		
1　t	80　t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>※欄は記入しないこと。</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和5　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート破片</td><td>アスコン破片</td></tr>
<tr><td>※欄は記入しないこと。</td><td>9463.11　t</td><td>8　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1415.15　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>9463.11　t</td><td>8　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

委託先の事業の範囲の確認の徹底。
最終処分までの確認の徹底。
業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
9.09 t	4.75 t	104.37 t	4 t
9.09 t	4.75 t	104.37 t	0 t
9.09 t	4.75 t	104.37 t	4 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	石綿含有廃プラスチック類	石綿含有がれき類
54.89 t	8.5 t	1.16 t	56.68 t
0 t	8.5 t	1.16 t	45.58 t
54.89 t	0 t	0 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

蛍光灯	管理型建設系混合廃棄物		
0.24　t	68.03　t	t	t
0.24　t	68.03　t	t	t
0.24　t	68.03　t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート破片</td><td>アスコン破片</td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>10000 t</td><td>30 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>2000 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>10000 t</td><td>30 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

委託先の事業の範囲の確認の徹底。
最終処分までの確認の徹底。
業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

②計画

ガラスくず等	廃プラスチック類	木くず	繊維くず
20　t	10　t	150　t	5　t
10　t	5　t	120　t	2　t
20　t	10　t	150　t	5　t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

廃石膏ボード	石綿含有ガラスくず	石綿含有廃プラスチック類	石綿含有がれき類
60　t	20　t	10　t	60　t
20　t	10　t	5　t	50　t
60　t	0　t	0　t	0　t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

蛍光灯	管理型建設系混合廃棄物		
1　t	80　t	t	t
1　t	70　t	t	t
1　t	80　t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。